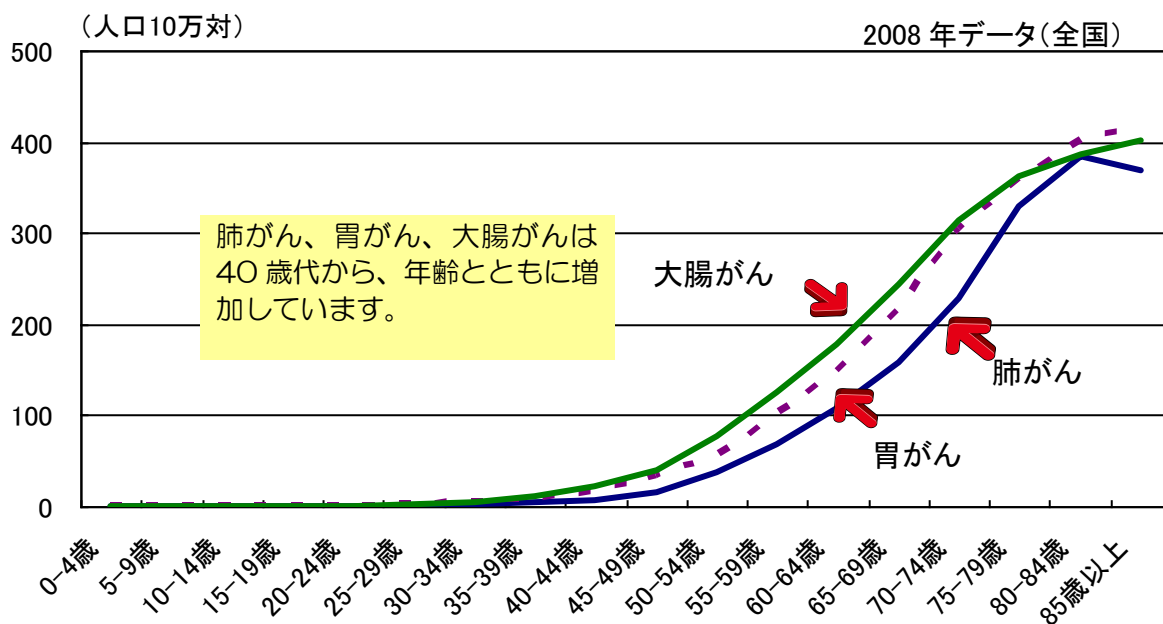


熊本市がん検診の実施状況と受診促進の取り組み

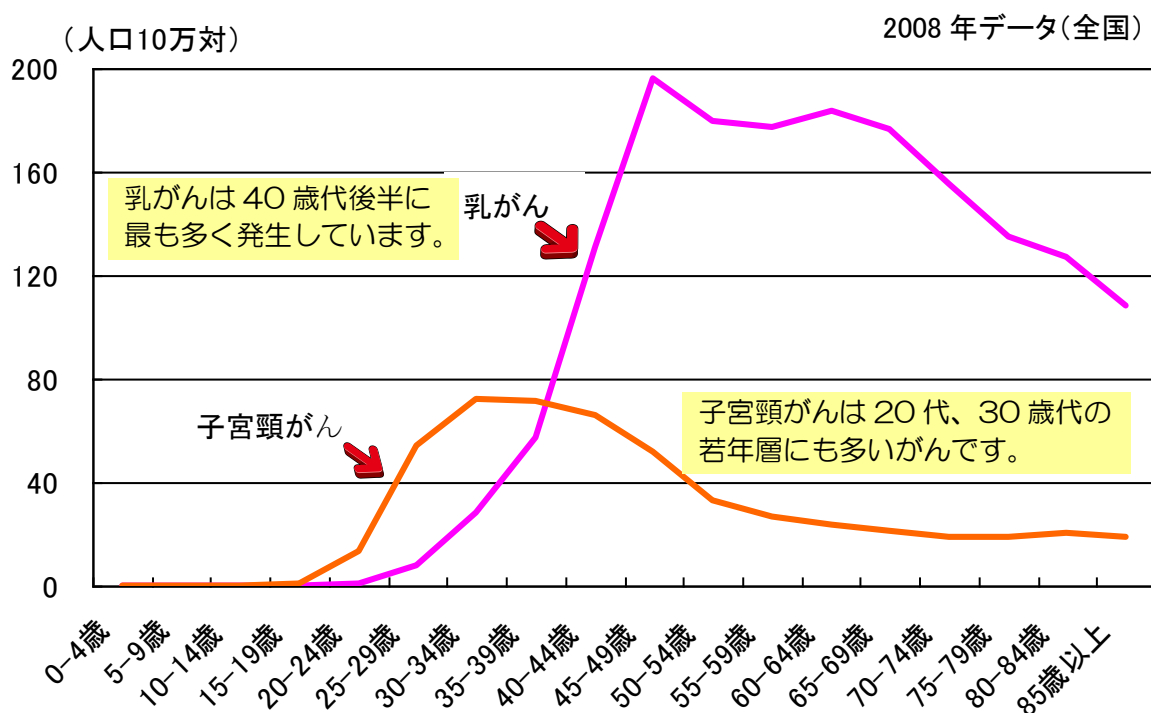
1 がんの現状

○ がんの罹患

〔図1〕 肺がん・胃がん・大腸がんの年代別罹患率(男女計)



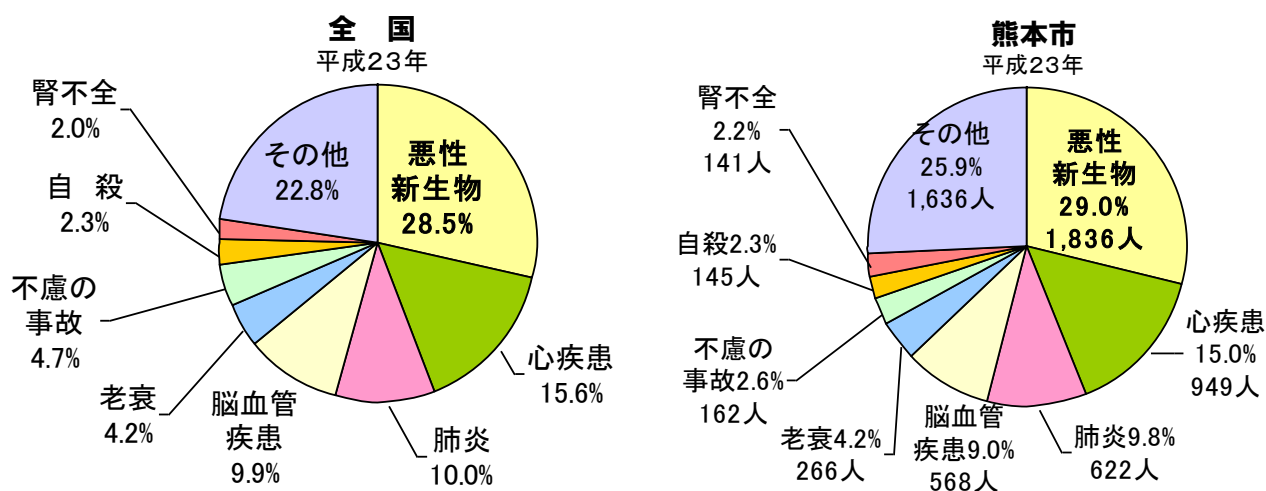
〔図2〕 乳がん・子宮頸がんの年代別罹患率



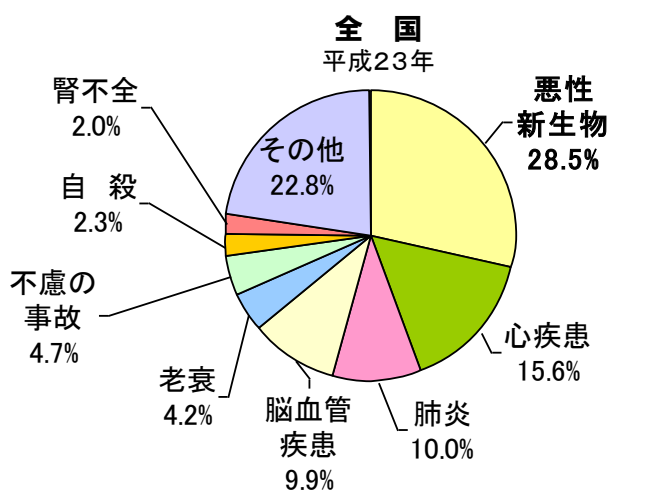
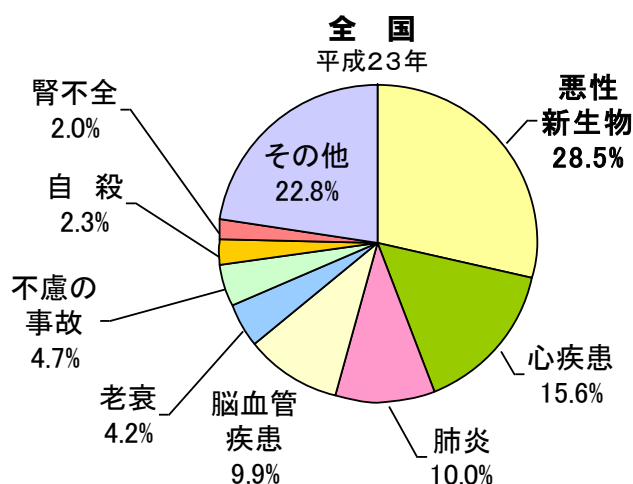
資料 地域がん登録全国推計によるがん罹患データ
(国立がん研究対策情報センター 2008年データより作成)

○ がんによる死亡

〔図3〕 死亡原因に占める悪性新生物による死亡の割合



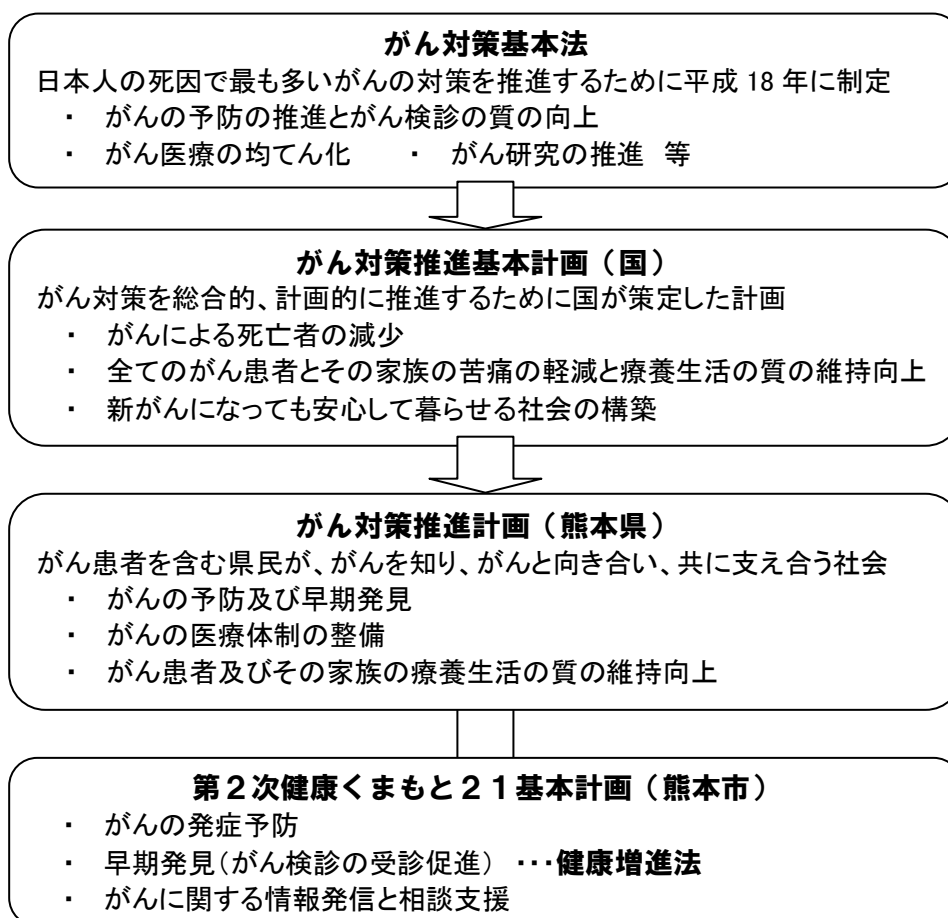
資料 厚生労働省人口動態統計より作成



子宮がん:子宮頸部の細胞診

	任意型検診
	人間ドック・医療機関等の民間
	個人の死亡リスクを下げる
	制限はなし
担)	全額自己負担
益・不 こ と つ て	個人のレベルで、利益と不利益の バランスを判断
という 示して	各検診機関、医療機関が自由に決定
廃検査	肺 CT、胃カメラ、大腸ファイバー、 乳房エコー検査、前立腺がん検査 等々
フィ	

3 がん対策に係る法律や計画



4 熊本市がん検診の内容

国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき、5種類のがん検診を実施。

検診名	対象者	検診内容	検診の種類	個人の負担金
肺がん検診	年度内に40歳以上になる方	胸部エックス線検査	集団検診	40～64歳の方口 300円
	肺がん検診の問診により必要と認められた方	喀痰細胞診		65歳以上の方 200円
胃がん検診	年度内に40歳以上になる方	胃部エックス線検査	集団検診	1,000円
大腸がん検診	年度内に40歳以上になる方	便潜血検査	個別検診	500円
			集団検診	300円
子宮がん検診	年度内に20歳以上の偶数年齢になる女性	問診・視診・内診・細胞診	個別検診	1,200円
			集団検診	1,000円
乳がん検診	年度内に40歳以上の偶数年齢になる女性	問診・視診・触診・乳房エックス線検査（マンモグラフィ）	個別検診	40歳代の方 1,500円
			集団検診	50歳以上の方 1,100円

5 がん検診受診率の状況

事業名		年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
肺がん	対象者数		176,208	193,079	193,079	193,079	203,783
	受診者数		23,286	26,723	27,676	25,127	22,861
	受診率		13.2%	13.8%	14.3%	13.0%	11.2%
胃がん	対象者数		176,208	193,079	193,079	193,079	203,783
	受診者数		9,616	12,165	11,688	11,022	10,556
	受診率		5.5%	6.3%	6.1%	5.7%	5.2%
大腸がん	対象者数		176,208	193,079	193,079	193,079	203,783
	受診者数		11,273	14,397	21,704	24,708	22,670
	受診率		6.4%	7.5%	11.2%	12.8%	11.1%
乳がん	対象者数		116,618	127,030	127,030	127,030	131,536
	受診者数		6,030	12,670	12,826	13,124	12,036
	受診率		9.6%	14.7%	18.9%	19.4%	18.1%
子宮がん	対象者数		152,105	164,362	164,362	164,362	167,436
	受診者数		12,215	20,620	20,168	19,936	19,017
	受診率		13.8%	20.3%	23.9%	23.5%	23.0%

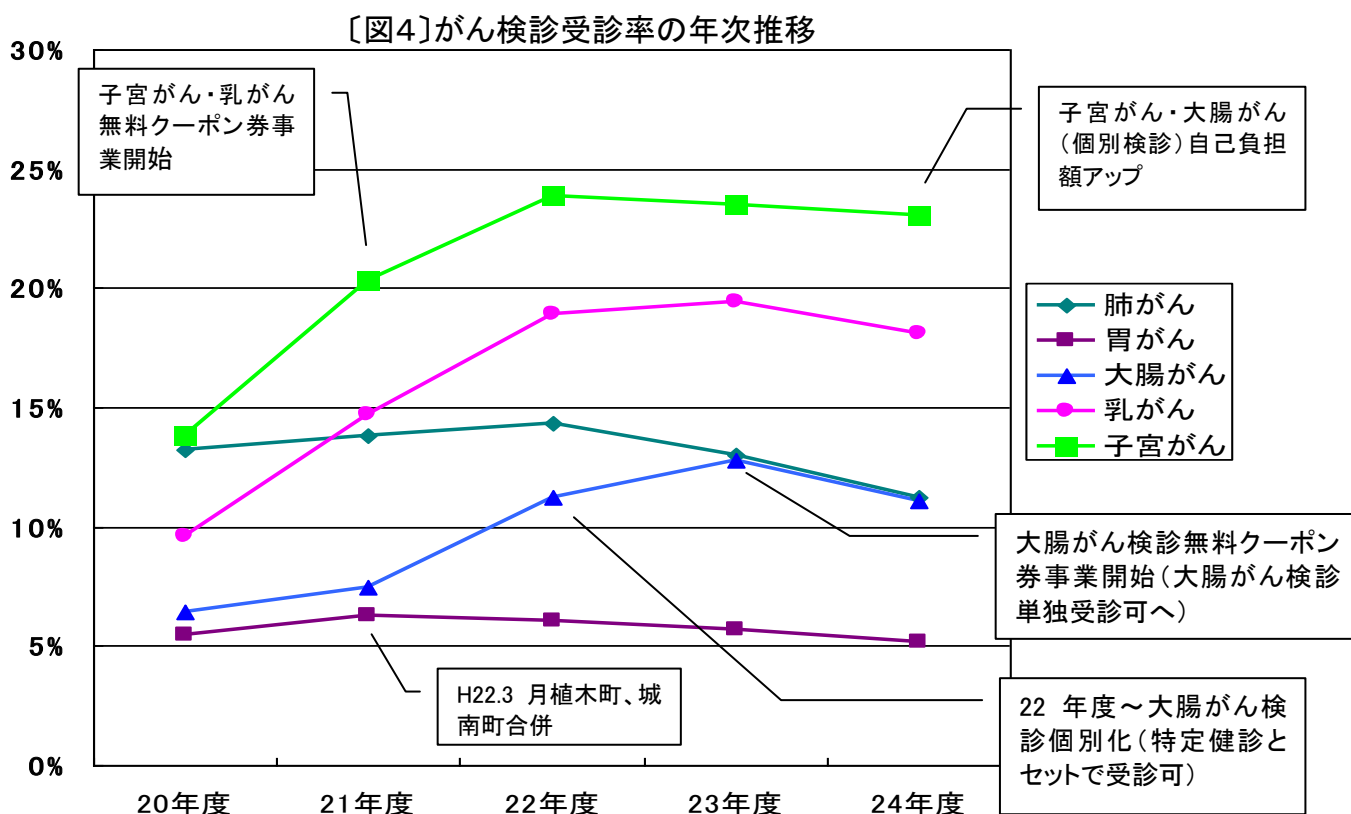
* がん検診の対象者(直近の国勢調査)

推計対象者数 = 市町村人口 - (就業者数 - 農林水産業従事者数) ※

※子宮がんは20歳以上、それ以外は40歳以上

* 子宮がん及び乳がん検診の受診率の算定方法

受診率 = $\frac{\text{「前年度の受診者数」} + \text{「当該年度の受診者数」} - \text{「2年連続受診者数」}}{\text{対象者数}}$



6 がん検診で発見されるがんの状況

平成23年度

	肺がん	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮がん
受診者数 (a)	25,127	11,022	24,708	13,124	19,936
精密検査が 必要な人 (b)	695	853	1,965	1,353	641
割合 (b/a)	2.8%	7.7%	8.0%	10.3%	3.2%
精密検査を 受けた人 (c)	617	779	1,607	1,166	430
割合 (c/b)	88.8%	91.3%	81.8%	86.2%	67.1%
がん発見数 (d)	21	6	58	47	18
発見率 (d/a)	0.08%	0.05%	0.23%	0.36%	0.09%

7 熊本市及び全国・熊本県の受診率及び目標値

		肺がん	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮がん
基準値 ※1	全国※2	24.7	32.3	26.0	39.1	37.7
	熊本県※2	29.9	38.2	29.3	47.8	43.4
	熊本市※3	19.9	28.7	27.9	46.3	37.3
目標値		40%	40%	40%	50%	50%

※1 40～69歳まで(子宮がんは20～69歳まで)を対象とする受診率(自治体が実施するがん検診および職場検診、人間ドック等での個人検診を含む)

※2 H22年国民生活基礎調査より

※3 H23年度健康くまもと21アンケート調査より

8 がん検診を受けない理由

※40歳以上の方

○ 熊本市 2000人市民委員会第2回アンケート(H23年度)

時間が取れなかった 25.0%
 心配なときはいつでも医療機関を受診できる 16.6%
 検診を知らなかった 11.4%

○ 内閣府 がん対策に関する世論調査 (H25年1月実施)

受ける時間がない 42.0%
 がんであると分かると怖いから 38.2%
 費用がかかり経済的にも負担になるから 31.9%

9 25年度のがん検診受診促進の取り組み

<個人通知>

- ・ 満 40 歳になる市民全員にがん検診勧奨はがきを送付 【参考資料 2-1】
- ・ 満 20 歳になる女性に対し子宮がん検診受診勧奨通知を送付 【参考資料 2-2】
- ・ 特定年齢(62、65、68 歳)の方を対象に肺がん検診の受診勧奨ちらしを個別送付 【参考資料 2-3】
- ・ 5歳刻みの一定年齢の方に子宮がん・乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券等を送付
【参考資料 2-4】

<医療保険者や企業等との連携>

- ・ 全国健康保険協会(協会けんぽ)熊本支部との健康づくりに関する包括協定に基づく、協会けんぽ加入者等に対するがん検診の啓発
- ・ がん対策を推進する企業・団体との協定に基づく、従業員や顧客等への啓発

<啓発イベント等>

- ・ 健康づくりに関するイベントや市政だより、市ホームページ、ラジオ、民間情報紙等を活用したがんの予防やがん検診の受診勧奨 【参考資料 2-5】

<地域での取り組み>

- ・ 校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、各種がん検診の啓発を強化するとともに、幼児健診、子育てサークル支援、高齢者健康サロン等の保健事業の機会を捉え、参加者等にごがん検診についての情報提供を実施。 【参考資料 2-6】